

H I C 通信

Vol. 93

July 2016
Hiroshima
International
Center



目次

P 2 防災特集

いざという時に備えよう！

P 5 事業報告

交流部

留学生活躍支援センター

P 7 コラム

Hello Hiroshima

P 8 J I C A レポート

こちら J I C A デスク

P 9 草の根国際協力基金について

P 10 外国人相談窓口のご紹介

P 11 イベント・講座案内

Upcoming Events News

いざという時に備えよう!

「災害」は私たちの大切なものや、ときには命まで奪っていくことがあります。
 そのため「災害」に備えて、普段からどのように行動したらよいか考え、準備することが大切です。
 広島だから特に気をつけたい災害も、外国人の方にはなじみのない災害もあります。
 皆さんも、ぜひ一度「災害」について考えてみてください。

広島県で特に注意してほしい災害



土砂災害
 雨が降り続くと地盤が緩んで崩れたり、土や石がいきなり流される。



高潮
 強風などにより海面が上昇して、海水が防波堤をこえる



洪水
 大雨などにより川の水があふれる



地震
 地面が大きく揺れ、建物が崩壊する。



津波
 地震の後に、大きな波となって海水が陸に上がってくる

～ HIC来館の方にアンケート～
母国に“地震”はありますか?

“ある”と答えた人数は…
国によってさまざま

日本ではしばしばおきる地震。でも世界には地震が起きない地域、地震を知らない人がいます。経験したことの無い災害を知ることは、そうした人にも、周りの日本人にとっても、防災の第一歩です。

※HIC来館者 70名 (日本人除く) にアンケート実施 (実施期間 H28.5.14～5.31)



災害の備えは何をすればいいの?

身を守るための3ステップ

- ① 自分の住んでいるところの**危険性**を知ろう!
- ② 災害に関する**情報**を集めよう!
- ③ 早めに**安全**なところに**避難**しよう!



し 知ろう! そな 備えよう!

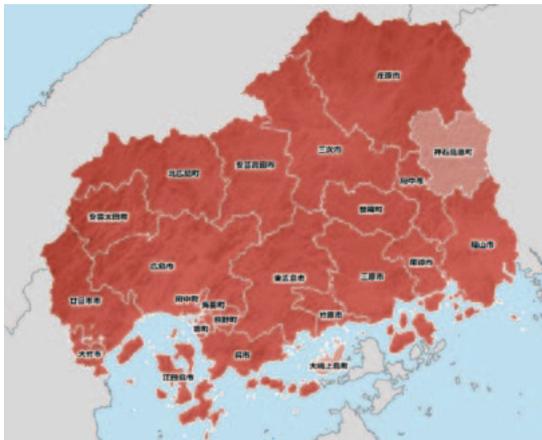


危険性を知ろう

住んでいるところの危険性を知ろう!

地域地域で、リスクの高い災害は異なります。あなたの地域はどんな災害に特に注意すべきか、ハザードマップで災害リスクを確認しましょう。

▼広島県防災WEBでハザードマップを確認できます
(画像は土砂災害のハザードマップ)



情報をあつめよう

防災メール登録しておきましょう。災害の危険が高まると住んでいる市町、県から配信されます。Yahoo防災メールといったスマホアプリを使うことも有効です。



避難方法を知ろう

避難場所を確認しよう!

地域ごとに避難場所が決まっています。例えば、学校、集会所、公民館などです。近くの避難場所を調べてみましょう。また、ふだんから逃げるときの道や危険なものがないか確認しておきましょう。

TOPIC

地震は突然きます。家具はしっかりと壁などに固定し、壊れやすいものや重いものは家具の上に置くのはやめましょう。

ハザードマップで
災害リスクを調べよう



近くの避難所を
探してみよう



防災メールに
登録しましょう



災害のリスクを知って、事前にシミュレーションすることが大切です。



災害が起きる前に知っておくことが大切と話される広島県 危機管理監 担当課長 藤谷吉秀さん

—広島県では防災についてどのように取り組まれていますか？

一昨年8月の広島土砂災害では、76名もの尊い命が失われました。このため、広島県では、「災害死ゼロ」を目指し、県民の皆様が、自然災害から命を守るための行動をとっていただくことができるよう、昨年4月から、広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を展開しています。

—広島にはどのような災害が多いのでしょうか？

広島県には、土砂災害の危険箇所は約3万2千箇所(全国一)あります。

これまで、幾度となく、土砂災害などによる被害が発生しています。また、南海トラフ地震、五田市断層地震など、発生すると、広範囲にわたり、甚大な被害をもたらす地震が想定されており、災害は、いつ、どこで起きるか分かりません。

—普段からどのように備えておけばよいのでしょうか？

住んでいるところには、どんな災害リスクがあるのかを知り、普段からどのように備えておけばよいか、また、いざという時に、命を守るため適切な行動にはどのようなものがあるか、確認しておくことが大切です。

土砂災害や洪水などでは、ハザードマップで、災害の危険性と、どこの避難場所にどこを通過して逃げればよいか、普段から確認しておきましょう。ハザードマップは、県のホームページから見することもできます。

—外国人の方が防災について心がけることはありますか？

まずは、災害リスクについて知ってください。その上で、いざというときには、早め早めの避難行動をとるよう心がけ、身の安全を守ってください。

分からないことや、不安なことがあれば、御近所の方や、お住まいの市町の防災担当課などに聞くなどして、必要な情報を集め、御家族とも共有しておきましょう。

(参考サイト) 広島県防災WEB
広島県「みんなで減災」はじめの一步



知っておこう! 災害時のことば

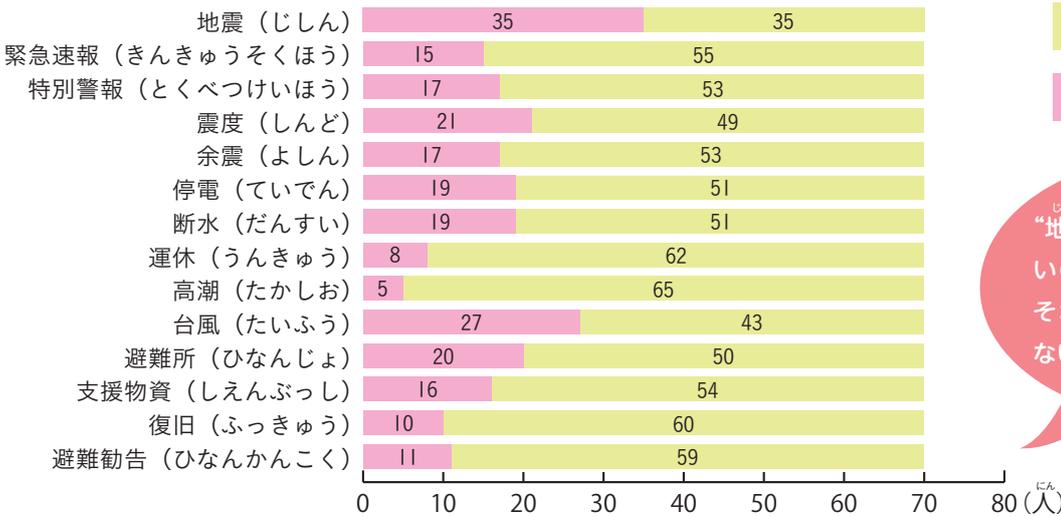
日本人はよく知っている災害時の言葉も外国の方には難しい言葉。
 いざという時には、簡単な言葉に言いかえて伝える工夫も必要です。
 外国人の皆さんも、災害時によく使う言葉を覚えておくと安心につながります。



HIC来館者の皆さまにアンケート

この災害用語知っていますか？

※HIC来館者 70名(日本人除く)にアンケート実施
 (実施期間 H28.5.14~5.31)



知らない
 知っている

“地震” “台風” は半分くらいの人知っていますが、それ以外の言葉はわからない人が大多数です。



災害時のことばを多言語表でかくにんしましょう

災害時用語 多言語表

日本語	中国語	韓国語	英語	フィリピン語
地震	地震	지진	earthquake	lindol
緊急速報	紧急的速报	긴급속보	Warning of an impending disaster	patalastas sa darating na sakuna
特別警報	特别的警报	특별경보	emergency warning	madaliang patalastas
震度○	震度	진도○	○ on the Richter scale	lindol na level ○
余震	余震	여진	aftershock	aftershock
停電	停电	정전	black-out	brown-out
断水	断水	단수	Interrupted water supply	pagtigil ng suplay ng tubig
運休	停开	운휴	suspension of service	hindi umaandar
高潮	满潮	고조	high tide	kung mataas at maalon ang tubig
台風	台风	태풍	typhoon	bagyo
避難所	避难所	피난소	emergency shelter	emergency shelter
支援物資	支援物资	지원물자	relief materials	mga suplay
復旧	修复	복구	rehabilitation	bumalik
避難勧告	避难劝告	피난권고	Evacuation advisory	evacuation advisory

ふだんの備えが防災の第一歩!

交流部

Report 1 能楽鑑賞を開催

5月23日（月）、日本文化理解促進事業の一環として「能楽鑑賞」を開催しました。

この企画は、(公財)ひろしん文化財団主催の「第26回青少年のための能楽鑑賞教室」にご招待いただき、毎年参加しているもので、今年も、広島県に在住の外国人及び日本人のグループ、9カ国 計54名の方々と一緒に、能「土蜘蛛」と狂言「呼声」を鑑賞しました。

外国人の皆さんは、〈無〉の空間を表現した舞台に際立つ能装束の絢爛さ、会場に轟く笛・小鼓、太鼓の音色と謡に引き込まれ、言葉は理解できなくても、全身で日本文化の究極の「美」を感じ取り、舞台に陶醉された様子でした。

参加した外国人からは、「すばらしいパフォーマンスでとても楽しめました」「シンプルな表現の中の、美しさ、力強さにすごく感動しました」「とても素晴らしく、音・舞・歌すべてが体の中に染み込んでいく感じでした」等のうれしいお言葉をいただきました。

今後もひろしま国際センターでは、外国の皆さんと一緒に楽しめるイベントを随時、開催していきます。



Report 2 「平成28年度 ひろしま多文化共生連絡協議会」を開催

5月18日（水）に「平成28年度 ひろしま多文化共生連絡協議会」が開催されました。今年は、公益財団法人とよなか国際交流協会の山野上隆史事務局長を迎え、「多文化共生と協働」についてご講演いただき、多文化共生の先進事例やとよなか国際交流協会の取組、行政と民間の連携・協働についてお話いただきました。また、広島県内の多文化共生施策の事例として、福山市が開催する「多文化共生大学」や「市制100周年イベント」、安芸高田市・安芸高田市国際交流協会・安芸高田市社会福祉協議会による「災害時多言語支援センター設置等に関する協定」、広島法務局の外国語人権相談ダイヤル、江田島市での多文化共生相談員設置、県警本部による「『めざそう！安全・安心・日本一』ひろしまアクションプラン」などが紹介されました。



(公財)とよなか国際交流協会の山野上隆史事務局長による講演の様子

留学生活躍支援センター

Report 3 外国人留学生のための進学相談会in岡山

6月3日（金）、岡山で開催された「外国人留学生のための進学相談会」に参加してきました。

岡山の日本語学校で学んでいる留学生が、大学などへの進学を相談できるイベントです。私たちは、広島県の留学生活や県内大学の紹介をしてきました。福山大学の宋くんも、中国語の通訳として、先輩留学生として、お手伝いしてくれました。広島に大学に興味を持ってくれる学生さんにもたくさん出会うことができました。



Report 4 「平成28年度 第1回企業説明会」を開催します。

来る9月16日（金）、広島国際会議場（ヒマワリ）において「平成28年度第1回留学生合同企業説明会」を開催します。外国人留学生の県内企業への就職を支援するため、約45社の企業が参加し自社の魅力を直接PRし、就職活動中の留学生と企業の出会いの場をつくります。当日は県内企業に勤める留学生OB・OGと就職活動中の留学生との交流会も実施し、留学生の先輩・後輩の交流会も行います。現在、参加企業・留学生を募集中です。

☆詳細はHPよりご確認ください。http://goo.gl/KQQxLf



留学生活躍支援センター

Report 5 留学生フィールドワークツアー in 鞆の浦

6月4日(土)、福山市の鞆の浦で「留学生フィールドワークツアー in 鞆の浦」を開催しました。広島地域留学生会・福山市・ふくやま国際交流協会が共催し、県内留学生、福山市民ボランティア合わせて約130名が集まりました。

留学生と市民ボランティアと一緒にグループを作り、町の魅力や課題を探しながら鞆の浦をフィールドワークしました。その後ワークショップを行い、「お昼ごはんを食べる時に分からなかった言葉や困ったことは?」「鞆の浦で一番気に入ったところは?」「鞆の浦の観光地としての課題は?」これらの3つのテーマについてグループで話し合い、全員の前で発表しました。レストランのメニューに写真があったらいいな、医王寺からの眺めが最高だった、自動販売機やトイレが少ない、それぞれのお寺の特徴を分かりやすく示したパンフレットを作ったらどうか?など、たくさんアイデアが出ました。お土産屋さんやコンビニが増えたら便利になるという意見の一方で、せっかくの古い町並みをそのまま保存していくべきでは?といった意見も聞くことができました。

その後は、あいにくの雨で楽しみにしていたBBQはできなかったものの、地元のボランティアさんが心を込めて作ってくださった夕食をみんなで美味しくいただきました。

今回のイベントで、留学生も、日本人も、地域に暮らしているみんなが町づくりの担い手の一員であることに気付くきっかけになればと願っています。また、ここで新しくできた“鞆達”の輪もずっと大切にしていってほしいと思っています。



留学生活躍支援センター

Report 6 外国人留学生のインターンシップを実施します。

外国人留学生に広島県内企業での就業体験の場を提供し、実践的なビジネス日本語能力の向上や、日本企業の理解促進を図ることを目的としたインターンシップを次の2コースで実施します。

受入れいただける企業様は、下記のウェブサイトよりご登録いただくか、当センターまでお気軽にお問い合わせください。

【就業体験コース】

受入日数：5日～2週間程度

内 容：日本企業の仕組みや商習慣、ビジネスマナーなどを身に付け、社員の方々との意見交換など実践的な研修を行う就業体験中心のコース

対 象：広島県内企業に就職意思または関心があり、日本語能力試験N1程度の有する留学生

【企業見学ツアーコース】

受入日数：1日(1日で2～3社の企業を訪問予定)

内 容：県内企業の理解促進を目的とし、企業の職場・工場の見学、社員の方々との意見交換を行う、企業見学中心のコース

対 象：広島県内企業に就職意思または関心があり、日本語による説明が理解できる留学生

☆詳細はこちらから⇒ <http://goo.gl/fpcQMT>



H27年度企業見学ツアーの様子

外国人留学生のインターンシップ 受入れ企業募集!

広島県内企業に就職意思、または関心のある外国人留学生をインターンシップ生として受け入れていただける企業を募集します。

『外国人留学生インターンシップについて』
外国人留学生に広島県内企業での就業体験の場を提供し、実践的なビジネス日本語能力の向上や日本企業の理解促進を図ることを目的としています。

インターンシップ受入れ企業募集チラシ

Hello Hiroshima

Vol.93 July 2016



To Be Continued By Trevor Swan

One thing I don't get about those who sue colleges in the United States because they didn't get accepted is why they don't just try again.

It was in college that I first heard of the JET Program (the Japan Exchange and Teaching Program [語学指導等を行う外国青年招致事業]). I had studied abroad in Japan for a short time and studied the language for years so when I graduated in 2008, full of excitement and zeal for going to Japan again I applied to be a Coordinator for International Relations (CIR) with the JET Program. But I didn't get it...

I admit, I was pretty disappointed for a while, but I moved on. I went to grad school, got better at Japanese, had a much wider range of experiences to draw on and after I graduated grad school in 2012 I decided to apply again... But things weren't so smooth... I went up to the interview process and I thought it could have been better, but I kept my hopes up only to find out that I was not short-listed... I was to be an alternate. (Alternates are people who were good enough to go, but not at the top of the list) To me for that time period I thought I would have to wait several months only to find out I wouldn't go after all. It was torture, constantly waiting for more news. But I was luck, just one month later I found out that I had been upgraded to the short-list and would be shipping out with the second batch (500 ppl) new participants for Tokyo orientation. It looked like I had been

assigned to work in Hiroshima Prefecture.

All I had heard at that point was what everyone hears—that an atomic bomb had been dropped on it. But I also did some research, and it looked like a pretty great place to live and had recovered beautifully. I was pretty damn excited then, too and for much better reasons than before. Then in early August, 2013 I hugged by parents and brother goodbye and boarded a plane headed for Narita Airport...

During these past three years, I got to participate in historic festivals, climb Mt. Fuji, welcome cruise ships as a translator; edit a book about how Hiroshima city recovered following the bombing; interpreted during welcome ceremonies for cruise ships carrying thousands of passengers, and introduced special needs kids to US culture. When I think about it, these past few years have contained a lifetime of experiences for me. And working here has been an honor and a privilege and will probably remain one of the best experiences of my life.

This is my last article as the author of Hello Hiroshima and my term as CIR is coming to an end. But just like Hello Hiroshima, my journey here is not over. I have yet another goal worth striving for—like the JET Program, it is something I applied to 4 years ago and didn't get in to... But what I learned from this experience is that giving it another try can be life-changing.



HICワンペア 日本語学習ボランティア

外国人学習者さん増えてます
**ボランティアさん
大募集中。**

詳しくはウェブサイトへ
HICワンペア 検索



- 活動内容 在住外国人の方の日本語学習を一对一(ワンペア)で、お手伝いします。
- 活動場所 ひろしま国際センター 交流部 (広島市中区中町8-18)
- 募集対象 外国人の方の日本語学習を手伝ってみたい方、国際交流に興味のある方、ボランティアに興味のある方。年齢18歳以上。資格・経験は問いません。(申込み時に語学力等ご相談いただけます)

- 申込方法 来館、ホームページ、郵送またはFAXでお申し込みください。郵送、FAXの場合、ホームページから登録用紙をダウンロードいただけます。
- 登録後の流れ 登録後は当センターにてご希望条件(※)に合った方とマッチングいたします。
※希望条件は、学習曜日や時間帯、学習頻度、学習レベル等です。

【お問合わせ】公益財団法人ひろしま国際センター 交流部

tel:082-541-3777

広島から世界へ！ 僕たちにできることは必ずある！

～広島から世界へ 6月下旬より、広島県出身のJICAボランティア11名が東ティモール、ジンバブエ、ブラジルなど9カ国へ向けて出発します！～



■現在赴任中の広島県出身 JICAボランティア(名)

区分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	15	29	44
シニア海外ボランティア	7	2	9
日系社会青年ボランティア	—	1	1
日系社会シニアボランティア	—	1	1

平成28年4月30日時点

JICAボランティア <青年海外協力隊とは!?!>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という強い意欲を持つ20歳～39歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティアです。派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、途上国の発展を支援する。そんな現場レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか!? 40歳～69歳の方を対象とした「シニア海外ボランティア」もあります。

帰国隊員レポート ～ヨルダン篇～

北村 珠絵さん



ヨルダン・ハシメット王国

中東・西アジアに位置する立憲君主制国家。イスラエル、パレスチナ暫定自治区、サウジアラビア、イラク、シリアと隣接する。

【概要】面積：8万9,000km² (日本の約4分の1)
人口：約645万9,000人 (2013年 世銀)
首都：アンマン
公用語：アラビア語
宗教：イスラム教 (93%), キリスト教等 (7%)

現地での活動内容

ヨルダン南部の町にある女子職業訓練所の美容コースにて、インストラクターと生徒の技術力向上、学習意欲向上、教材作りなどを目的として派遣されました。しかし、そこはボランティアを受け入れるのが初めてだったこともあり、誤解が元で人間関係は最初からギクシャクしたものに…。まずは日本人を分かってもらおう事、こちらも相手を理解する事に専念しました。結局インストラクターと技術面の話ができるようになったのは1年経ってから。初めてインストラクターと一緒にシャンプーの授業をした時は涙が出そうになりました。またヨルダンにある難民のコミュニティーセンターを訪れ、シリア人難民女性に楽しい時間を過ごしてもらえるようなワークショップなども開催しました。



◀障がい者施設でのワークショップの様子



▲ヨルダンの食事



▲活動先のスタッフのお父さんと

ヨルダンってこんなところ！

ヨルダンって聞くと何となく暑い国のイメージがありますが、四季があります。春と秋は短いですが、日本と同じ時期に春夏秋冬がきます。雪だって降りますよ！雪が降る前日には国王から「明日は雪なのでお休みで～す」というアナウンスがあり、1週間程お休みになっちゃいます。春には、桜に似たアーモンドの花が咲き、私も人生初の花粉症を体験しました。

ヨルダン人ってこんな人！

喜怒哀楽がはっきりしていて、とっても分かりやすいです。ある日、生徒が大泣きしていたので心配していたら、5分後にはケロッとしてお茶を飲んでいました…。感情を吐き出すことで後に引かないんだな～と感心しました。またみんなとても親切です。バスに乗ると女性・子ども・年配者には席を譲ってくれますよ。そして意外と(!?)時間は守ります。

JICA 国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト2016 募集中!

募集期間 6/10(金) >>> 9/12(月) 当日消印有効

全国の中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状と国際協力の必要性について理解を深め、国際社会の中で日本は何をすべきか、また自分たちひとりひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的として毎年実施しています。

今年のテーマは、「未来の地球のために～私たち一人一人にできること～」。
ぜひご応募ください!

詳細は「JICAエッセイコンテスト」で検索!

●広島のイベント情報発信☆
広島JICAデスクfacebookはこちら→



北村 珠絵さん プロフィール

- ・福山市出身
- ・大阪の美容学校卒業後、神戸の美容室で5年間勤務。その後、福山市の美容室等にて勤務するが東北の震災をきっかけに退職し、石巻・女川・気仙沼・南三陸にてボランティアとして活動。福山市と東北を行き来する。2014年1月から青年海外協力隊(美容師)としてヨルダンにて活動。

参加のきっかけ

20歳の時に協力隊の事を知り興味を持つが社会人なりたてでいろんな意味で経験不足を感じ断念。年を重ね、今までやってきたことが役に立つなら…と思い参加しました。何よりも自分自身の目で見て体験してみたいと思いました。



▲生徒との帰り道で

参加して思うこと

今まで気づかなかった自分を発見できました。泣いたり怒ったりと大変だったことも、今では楽しい思い出です。最後まで何が起るか分からないのが協力隊!! あきらめないこと、続けること、「あせらず、ゆっくり、じわじわと」を念仏のように唱えてました(笑)。今まで生きてきた中で、初めて「日本」「日本人」だということ意識して生きた2年間でした。

国際協力活動を支援します。

ひろしま国際センター研修部では、民間レベルの自発的な国際協力活動を推進するため、民間の非営利団体が実施する国際協力活動に対して、助成しています。



草の根国際協力基金とは

この基金は、県民や企業等の皆様からの寄付や「ピース・アーチ・ひろしま」プロジェクトの収益からの寄付を原資として、民間の非営利団体が開発途上にある国や地域に対して行う国際協力活動に必要な経費の一部を助成し、民間の自発的な国際協力活動を推進しようとするものです。

対象となる事業と団体

- (1) 国際協力の担い手を育成する事業
民間レベルで国際協力活動を行う団体で活動する人材を育成する目的で、広島県内で実施される事業
例：講演会、シンポジウム、体験活動、調査、フォーラム、セミナー等
- (2) 開発途上の国や地域での国際協力事業
福祉・保健・医療、環境保全、教育文化、産業技術等の分野で、開発途上の国や地域で行われる事業
- (3) 公益を目的とした団体で、①国際協力を目的とし、②広島県内に活動拠点があり、③構成員の過半数が広島県内に住んでいること。

助成金額と助成実績

【助成金額】

対象事業	助成額	助成限度額
国際協力の担い手を育成する事業	対象経費の50%以内	100万円
開発途上の国や地域での国際協力事業	対象経費の50%以内	200万円

【助成実績】

年度	担い手育成事業		国際協力事業	
2014	1件	23,000円	4件	2,768,719円
2015	1件	255,825円	3件	2,449,059円

【2016年度採択団体】

選考委員会の選考を経て、7団体 合計4,503,611円を交付します。

団体名		国際協力事業
担い手	特定非営利活動法人モースト	イラン人毒ガス被害者の招致および映画祭開催を通じた若手ボランティア人材育成事業
	広島NGOネットワーク	国際協力活動を行う大学生のリスク管理能力向上に向けた人材育成事業
国際協力	特定非営利活動法人ESA	ミャンマーの学校 (Bon Pyan) 水供給システムの建設事業
	特定非営利活動法人日本パラオ協会	パラオ共和国における生活習慣病予防のための学校給食改善事業
	楠那ネパール友好協会	チェパン族の子どもたちに学校を：ネパール大地震後の復興支援事業
	特定非営利活動法人NGOひろしま	カンボジア貧困地域の子どもの健康づくりとIT教育推進事業
	特定非営利活動法人ベトナム友の会-ヒロシマ	ベトナム市民への支援・教育・交流活動事業

寄付のお願い

当センターでは、引き続き民間の非営利団体の国際協力活動を支援してまいりますので、基金へのご寄付をお願いします。

問合せ先：ひろしま国際センター研修部 管理課
TEL：082-421-5900 Mail：hicc@hiroshima-ic.or.jp



▲パレスチナ平和教育プロジェクト

広島県 外国人 相談 窓口

Hiroshima Prefecture's Counseling Services for Foreign Residents

HICは広島県内で暮らす外国人の皆さまが、安心して暮らしていただけるよう「外国人相談窓口」を開設しています。
この窓口では、在留資格や社会保険・労働問題などの専門的な相談や暮らしに関する相談を、フィリピン語・英語・韓国語の3か国語で提供しています。



在留資格(ビザ)や 仕事のことで 困っていませんか?

どんなことを相談することが できますか?
ビザのことを相談することが できます。たとえば「ビザが もうすぐ 終わります。まだ 日本に 住みたいです」「今の ビザと ちがう ビザに 変えたいです。」など。
仕事のことを相談することが できます。たとえば「会社の人 が 給料を 払いません」「会社の人 が 仕事を やめて ください」と 言いました。」など。

いつ 相談することが できますか?

毎週 木曜日 午前 10:00から 12:00
午後 1:00から 4:00

12月28日から 1月4日までは 休みです。
祝日(日本の 休みの 日)も、 休みです。

何を 持っていきますか?

ビザの 相談のとき、パスポート、在留カードを 持ってきて ください。

わたしの 国の 言葉を 分かる人は いますか?

英語、韓国語、フィリピン語で 相談することが できます。

あなたの 話を 入国管理局や 警察、会社、学校などには 言いません。
安心して 相談して ください。

Have any visa or work problems?

What kinds of problems can you help me with?

Talk to us your visa worries! We can give you advice if: your visa is about to expire and you want to stay in Japan, you want to change your visa, etc.
You can talk to us about work problems! And we can help you if: you are not getting paid, if someone at work is telling you to quit, etc.

When can I come in to get advice?

Every Thursday from 10am to 12pm and from 1pm to 4pm

We are closed December 28 through January 4.
We are also closed on Japanese (National) holidays.

What should I bring with me?

Please bring your passport and resident's card when discussing visa problems.

Is there anyone who can speak my language?

At present, you can talk to us in **English, Korean and Tagalog.**

We will not share the details of any discussions with immigration, the police, your employer or your school. Anyone can feel free to consult with us.

どこで 相談することが できますか?

公益財団法人 ひろしま国際センター
広島市中区中町8-18
広島クリスタルプラザ6F

Where do we offer consultations?

Hiroshima International Center (HIC)
Nakamachi 8-18, Naka-ku, Hiroshima City
Hiroshima Crystal Plaza 6th Fl.

電話番号は?

フリーダイヤル 0120-783-806
(電話のお金が かかりません)
携帯電話・スマートフォン 082-541-3888

What number do I call?

Toll Free Number:
0120-783-806
Smart/Cell Number:
082-541-3888





留学生日本語スピーチコンテスト In 広島2016

日常なことから国際問題まで、自由なテーマで留学生のみなさんに5分間の日本語スピーチを披露していただきます。予約不要、無料でどなたでも入場できます。みなさまお気軽にご来場ください。

- 日 7月30日(土)
- 時 13:00 ~ 15:00頃
- 場 広島経済大学立町キャンパス
- 定 100名
- 費 無料
- 問 広島キワニスクラブ事務局
担当者 穂下 亜紀子
TEL: 082-227-5315
hkiwanis@crocus.ocn.ne.jp

ひろしま通訳・ガイド協会 (HIGA) 文化講演会

『能の花は海を越えて』
【講演者】大島 衣恵 氏 (喜多流能楽師)

喜多流能楽師 大島衣恵氏は、福山市を中心に喜多流初の女性能楽師として舞台活動を行う一方、国内のみならず海外へも能の普及と啓蒙活動に努めておられます。大島氏から直接、話を伺うまととない機会です。多数のご参加をお待ちしております。

- 日 9月24日(土)
- 時 13:30 ~ 15:30
- 場 JMSアステールプラザ4階 大会議室
- 定 100名 (要予約)
- 費 無料
- 問 ひろしま通訳・ガイド協会 (HIGA)
担当者 今田, 長尾, 渡辺
higa@urban.ne.jp

ボランティア通訳ガイド講習会
— 西条 広島のお酒編 —

2016.9.10(土) 13:30~16:30

ひろしま国際センター 交流ホール (広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F)

今年はお酒がテーマ!

広島といえば、三大銘醸地のひとつ西条を抱える酒どころ。外国人観光客も増え、広島文化とも言える日本酒を語る機会も増えています。

今年「西条 広島のお酒」をテーマに、ボランティア通訳ガイドの講習会(英語)を開催します。西条の酒蔵を巡るモデルコースを紹介し、ひろしま国際センター交流ホール内で、プロジェクターを使って解説します。※日本酒の提供はございません。

講師には、多くの通訳ガイド実績を持ち独自の指導方法でも定評のある、ひろしま通訳・ガイド協会理事 畷崎 雅子様をお迎えします。

情緒ある東広島市西条の町並みや広島のお酒の知識を、通訳ガイド講習で一緒に学んでみませんか?



▲西条の酒蔵通り(写真提供: 広島県)

講師のご紹介



<講師>
ひろしま通訳ガイド協会 理事 畷崎 雅子氏

<プロフィール>
・宮島観光大使 ・ひろしま通訳ガイド協会理事
・(社)日本観光通訳協会会員A級会員
・「うねざき式」英語強化プログラム主宰

海外大使・観光客・研究者・ビジネスマンへの通訳案内の実績とともに、国際ロータリー奨学生広島プログラム、西条酒PRコーナー担当通訳など数多くの通訳実績をもつ。平和、教育、女性問題、歴史分野での翻訳実績もある。

募集要項

- ◆募集人数 50名(先着順)
- ◆募集資格 ボランティア向けの勉強会ですが、一般の方(日常会話レベル以上の英語が話せる方)もお申込みいただけます。
- ◆参加費 無料
- ◆申込方法 ホームページよりお申込みください。申込書(ホームページでダウンロードできます)にてFAX、郵送、窓口でもお申込みいただけます。(公財)ひろしま国際センター 担当:八木(やぎ)
- ◆申込先 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL: 082-541-3777 FAX: 082-243-2001
Eメールアドレス: hic17@hiroshima-ic.or.jp

「グローバルリレーションズ・プログラム(GRP)」参加者の声

Hiroshima International Plaza: a home away from home

Soheila Abdollahiさん (Islamic Republic of Iran)

Arriving at a new destination is a big challenge, specially for me that my past few years had been spent in the west, and my experience in the east world had been limited to only several short visits. To me living in a country like Japan with rich culture and tradition is a wonderful experience and full of mysteries, however, lifestyle differences may be a struggle.

Through attending in the Global Relations Program (GRP) provided by Hiroshima International Plaza (HIP), I would be able to organize my lifestyle in new surroundings. The GRP by promoting cross-cultural understanding, mutual respect and friendship among members in a vibrant global community helped me to overcome challenges I faced during first months. I learned many things specially about the east world that I could never find in any book or media, about history, culture, beliefs, custom, thinking way and healthy eating habits.

Warm greetings of front desk staffs and also security guards of HIP even at late time when I come back from university, make me feel more relax and happier after a very busy day and give me energy for starting another great day. Actually, it makes me feel I'm at

home, however it's 7000 km far away from home! Moreover, HIP staffs and Residence Assistants (RAs) by holding meetings regularly to debate on life issues, sport events at HIP's Gym, seasonal events like Hanami walking, planning welcome/farewell parties and cooking together in the kitchen foster interaction among GRP members.

But it's not all! HIP is more than just a residence for individuals from around the world. Educational and cultural programs such as music, dance and many cultural celebrations and festivals arranged by Japan International Cooperation Agency (JICA) at HIP, are among the hundreds of activities enjoyed by HIP residents and GRP members.

I think footprints of HIP staffs and my friends in GRP from Angola, China, France, India, Iran, Japan, Philippine, Uzbekistan and Vietnam on my heart is one of most valuable outcomes that I've obtained abroad.

As last word, to me HIP is open arms of Hiroshima to spread world peace and understanding. I wish them infinite success. Ganbatte HIP!



グローバルリレーションズ・プログラム(GRP)とは？

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的とした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、7ヶ国16人の留学生がこのプロジェクトに参加しているほか、レジデントアシスタントの日本人学生2人が入居し、彼らを支援しています。現在、入居者を募集中です。詳細は、「ひろしま国際プラザ」のHPをご覧ください。

★入居使用料
1泊770円 管理費2500円/月
月額24,060円～26,370円(水道光熱費込み)

賛助会員を募集しています！

HICでは幅広く市民の皆さんに協会の事業についてご理解、ご支援いただくために賛助会員制度を設けています。賛助会員の皆さまには、協会機関誌など国際交流情報やイベントのご案内をお送りさせていただきます。この制度を通して言葉や習慣の違いを乗り越え、心を通い合わせることでできる豊かなまちづくりに一緒に参加しませんか？

皆さまからご支援いただく賛助会費(※)は国際交流事業、国際理解教育事業、多文化共生事業に使わせていただいております。

■入会資格 協会の趣旨に賛同していただける個人、法人・団体

■年会費 個人一口 2,000円(一口以上)
法人・団体一口 10,000円(一口以上)

※当協会に対する賛助会費については税法上の優遇措置があります。

編集担当より

今回の表紙写真は、中国の留学生 龔政さんの作品です。瀬戸内海を背景にした夏らしい一枚です。龔政さんは昨年より留学生生活躍支援センターの「ひろしま留学大使」としても活動中で、そのWEBサイトに投稿した写真が美しく、今回、特別に提供をお願いしました。素敵な写真をありがとうございました。



交流部&留学生生活躍支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL. (082) 541-3777 FAX. (082) 243-2001
E-mail / hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



研修部 (ひろしま国際プラザ)

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL. (082) 421-5900 FAX. (082) 421-5751
E-mail / hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

(情報センター・図書室・NGO交流室)
月～土 10:30～19:00※
日・祝日および年末年始はお休みです。

※情報センター・図書室は平日12:30～13:30閉館です。臨時に閉館する場合は、HPで随時お知らせします。

